



骨折も！ ドアに子どもの指が 挟まれてけが

事例

隣にいた息子の指が、
ドアのちょうつがい側に入っているのに気づかず、母親が自宅の玄関ドアを閉めてしまい、息子が指を骨折した。

(当事者：1歳 男児)



ひとことアドバイス

- 子どもが近くにいることに気づかずに、ドアや窓を閉めてしまうこと等により、子どもが指を挟む事故が発生しています。なかには、指を骨折したり切断したりするなどの重傷を負う場合もあり、注意が必要です。
- 子どもの手や足は大人より小さく、狭い隙間にも入ってしまいます。ドアや窓を開閉するときには、近くに子どもがいないかをしっかり確認しましょう。
- ドアのちょうつがい側は、指挟みを防止するグッズなどでカバーし、けがを防止しましょう。

さぼーとくん

